

○町道泉津7号線について

泉津中心にあり地域からも要望もある泉津7号線の今後について

・平成22年度に泉津7号線が整備されたことになっているが完了されていない、早い段階での町道整備を望む。

問 私も町議会議員となり22年が経とうとしております。地域からの要望や様々な島の課題に取り組みながら何とかここまでこれたなと実感しております。

議員活動としても6期目の半ばまで来て、様々頂いてきた要望の総仕上げもしていかなければと考えるこの頃、今回はその持ち越してきた課題を解決して行く時期かと思い、質問することにしました。

昨年の11月にこの案件に関しては三辻町長、植松建設課長にお話をし、お二人が町長でも建設課長でもない時期のことですが、町道整備の実態について間違っていることをお知らせしました。

私自身もその時にはじめて知った事でしたので、その後どうしたら一番の解決になるのか考えており、この町道の周辺の実態や周辺住民の生活を見ながら、どうしていくことが今後、住民の生活にと

って良い事になるのか、今回の質問を決めた次第であります。

泉津 7 号線は泉津中心地域を都道に並ぶようにある町道の一つであります。

議員出馬依頼、要望もありましたが、住宅密集地域でもあり、道幅も狭く、取り掛かるにもなかなか課題もあるような町道でもありました。拡幅するには住宅が隣接している事、側溝等も課題がありました。

それでもその後、平成 22 年度の決算書で確認したところ、泉津 7 号線改修は完了となったようです。しかし、私の議員になってからこの道路が改修された実体はなく、その同じ年であったでしょうか、泉津 13 号線が都道工事と合わせて同じころ改修されたことは記憶しております。

その当時の経緯や実態調査も知りたいところでもありますが、その事より、泉津 7 号線の老朽化の目立つ路面改修の方が急務であり、7 号線とつながっている泉津 9 号線の側溝（7 号線にぶつかる箇所）の近年の雨量で水があふれ狭い道路が流れのはやい川のようになり、避難にも支障が出ている現状の方が気になります。

是非、現町長、現建設課長のお約束として泉津 7 号線の路面改修と 9 号線の側溝の改修を指示していただけないでしょうか。

三辻町長はその当時のことで私は町長ではありませんでした、。と責任逃れはしない町長だと知っております。建設課長も同様、信頼できる方だと思っておりましたので、昨年、この町道のことを知ってからここまで待ってきました。

是非ここで町としてこの件に対してのご判断をされ、今後の道路改修の予定に入れるようお願いしたいと思っております。

建設課長としての回答は、町長としてのご回答が全てであるのであれば、特にいりませんが、何か回答がございましたら、宜しく願いいたします。

答 建設課長

町道泉津 7 号線に関する質問にお答えいたします。該当路線はご指摘のとおり、幅員狭小のうえ、路面の老朽化が進んでいる状況であります。昨年ご相談いただいたこの件につきましては、就任以来はじめて伺うお話でしたので、改めて詳しくお話を伺い、どのような対策が必要で、どのような対応が可能であるかを検討したうえで、今後の事業計画に反映させていきたいと考えています。

答 町長

町道泉津 7 号線についてですが今さら過去のいきさつを議論しても仕方ありません。

今後についてですが、確かにこの路線は高橋議員も述べているとおり、地域の中心に位置する町道であります。しかし、建設課長の答弁のとおり、経年劣化等により路面も著しく破損しています。仮に整備するとしても、特定財源として考えられるのは、住宅密集地のため拡幅改修は無理です。対象となるかどうか調査しなければわかりませんが、市町村土木補助の補助率 10 分の 3 の道路補修しか見当たりません。町としましては、いくらかでも泉津財産区において負担していただけたら有難いです。

なお、このような形態の道路は各地域においても見受けられます。

いずれにしましても、地域の生活道路としての重要路線ということは認識していますので、建設課長の答弁のとおり、どのような対応が可能か、調査・検討したいと思います。

質問（自席）高橋

泉津 7 号線を認識していただいたこと有難うございます。路面が老朽化し下の玉石が表面に出ており雨でぬれると歩いておりますと滑

る可能性大でありますので、早急な路面改修が必要です。

平成 22 年度の土木費に泉津 7 号線道路舗装補修とあります。やったことになった道路（路線）にしたくなく質問しておりますし、他地域でもやらねばならない道路がたくさんある事も承知していますが、この問題を認識している現町長にやっていく取り掛かっていくというところのお答えがほしいですし、現建設課長も基本のお答えではなく泉津 9 号線からの雨水呑み込みの対策も合わせてお答えをお願いします。また、泉津財産区からの繰り出しについてですが、22 年度のこの計画では財産区の繰り出しなし町単での工事計画となっております。今までの経緯も考えたうえでご判断いただきたいと思います。

答 建設課長

通常、議員の皆様から要望を伺う場合は町長、または担当課長へご相談いただき進めさせて頂いております。その場合も現場を確認し、緊急性、必要性等を加味し優先順位を決め、事業計画に反映させています。

質問にありました雨水に関してはその場所だけで済むものではなく吐き出し口の状況、雨水がどのように集まるのか等の検証が必要

となります。近年のゲリラ豪雨などの集中的な雨の場合、各所で道路上を流れる雨水量が想定を超えるものとなっていますので、避難路の確保につきましては事前に確認していただき、早めの避難をお願いいたします

答 町長

今この場での回答は難しいと考えます。

問（自席）高橋

建設課長の心配ですが吐き出し口、飲み込ませる側溝は近くに大きな海まで続く深い U 字溝がありますので是非、調査・検証し、ご相談ください。

このような経緯のある道路が他の要望を 1 から上げて行かなければならないものとは一緒ではないということです。22 年度の決算書に載っているんですよ。もう 1 回要望を出せよという案件ですか。

答 建設課長

平成 22 年度ということで 11 年以上前の事業ということで当時の資料を確認しました。

路線についてはご指摘のとおり泉津 7 号線ではなく泉津 13 号線を整備しております。契約図面を確認しましたが、図面は泉津 13 号線

のものでしたので、事業件名は違っておりますが、契約内容の施行場所や工事別内訳は間違いありませんでした。

当時、既に工事完了検査、決算審査、議会での承認も済んでいますので、推測でございますが、担当課より事業路線名の錯誤の説明等があり、ご理解の上ご承認いただいているものと判断いたします。

念のため当時の大島町議会定例会「住民福祉環境常任委員会」決算報告の議事も確認しましたが、当時の建設課長が道路改良新設改良費の説明をし、委員長（高橋委員長でしたが）も新規路線についての確認をされているようでした。地元の路線でしたのでご理解いただいているかと思いましたが、承知していなかったとのことでしたので、申し訳ございませんでした。

問 高橋

私もこの泉津13号線を舗装改修している際、住民からの要望もあり、都道との取付道路でもありましたので、関わっておりましたが、泉津7号線とは全く別物としての改修舗装工事だとの認識です。

先程から言っている平成22年（11年前に）に必要であった道路改修でありますから、町長として取り掛かると約束していただけますでしょうか。

答 町長

路線名のこと当時いきさつはよくわかりませんが、間違えたことはお詫び申し上げます。

泉津地域のこの路線が地域住民にとって大切な道路だと認識もしておりますので、他地域の路線などとの調整を図りながら、検討したいと思います。やりますということです。